

MISUMI

熱風発生ユニット

取扱説明書

型名

MAHYC1010(100V 1.0kW)

目次

安全上のご注意

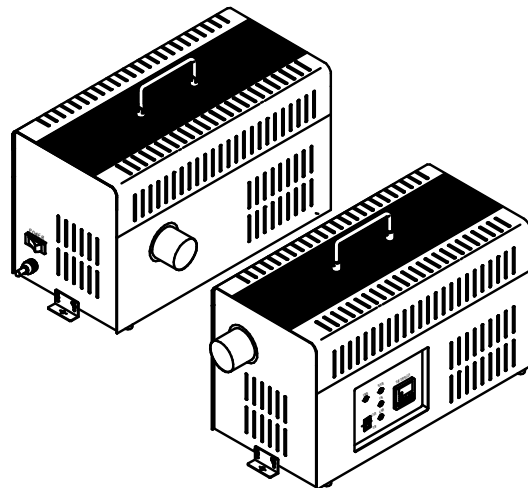
使用前のお願い

各部のなまえ、機能

使用方法

故障診断



仕様



- このたびは、熱風発生ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、必要事項が記載されておりますので必ずお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意











- ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示は警告注意の二つの区分にしています、意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されることを示します。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されることを示します。

警告

 改造禁止 改造はしない 火災・感電・けがの恐れがあります。	 屋外禁止 屋外で使用しない 雨、水のかかる場所で使用されますと漏電、感電の原因になります。
 分解・修理禁止 修理・分解をしない 火災・感電・けがの恐れがあります。分解は保証外となります。修理はお買上げの販売店にご連絡ください。	 禁止 不安定な場所に設置しない けが、思わぬ事故の原因となります。
 アース確認 必ずアースを接続する 故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。	 禁止 爆発性雰囲気中では使用しない けが、火災の原因となります。
 水かけ禁止 水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により、火災・感電の恐れがあります。	 禁止 熱風が人体にかからないようにする 高温のため火傷の恐れがあります。
 禁止 電源コードを傷つけない 無理に曲げたり、引っ張ったり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し火災・感電の恐れがあります。	 禁止 本体に物をのせない 本体の破損、思わぬ事故の原因となります。

注意

 接触禁止	運転中、カバーを取り外してファンやヒーターに触れたりしない 感電・けが・火傷の恐れがあります。	 注意	運転中や停止直後は、吐出口にさわらない 高温のため火傷の恐れがあります。
 禁止	直接炎のあたる恐れのある場所や油煙有機溶剤のある場所では使用しない 火災の恐れがあります。	 注意	定格電圧と入力電圧が一致していることを確認 損傷・火災の恐れがあります。
 禁止	製品の周囲には通風を妨げるような傷害物を置かない 火傷・火災の恐れがあります。	 注意	長時間ご使用にならないときは、必ずブレーカーを切る 思わぬ事故の原因となります。
 注意	製品を落としたり、強い衝撃を加えない 故障・火災の原因になります。	 注意	耐電圧試験は、おこなわない 損傷の恐れがあります。
 注意	配管接続は、外れ・漏れがないか確認する 火傷・火災の恐れがあります。	 注意	廃棄は専門の業者・公的機関に依頼 事故の恐れがあります。

使用前のお願い

据付

- 爆発性ガス・引火性ガス・腐食性ガスの加熱や、これらのガスの雰囲気内では使用しないでください。
- 結露や水のかかる状態で使用しないでください。
- 使用時は本機を水平な場所に置き、固定金具で固定してください。
- 0°Cから40°Cの雰囲気温度でご使用ください。
- 使用時は吸引口の周囲に1メートル位の空間を設けてください。

接続

(配管)

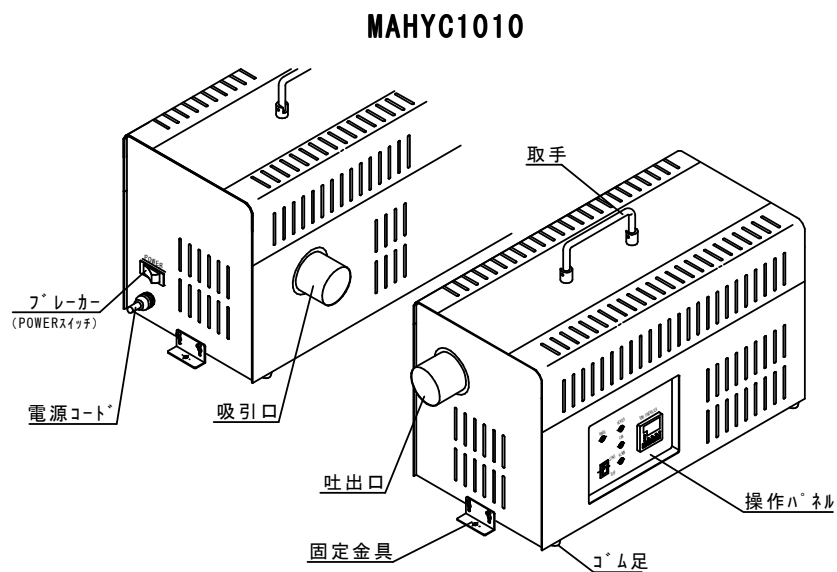
- ダクトはご使用温度に合ったダクトをご使用ください。
- 吸引口・吐出口を密閉や、ふさぐように物を置いた状態で使用しないでください。
- 配管はできるだけ短くしてください。また、配管の極端な曲げや絞りを行わないでください。

(電源)

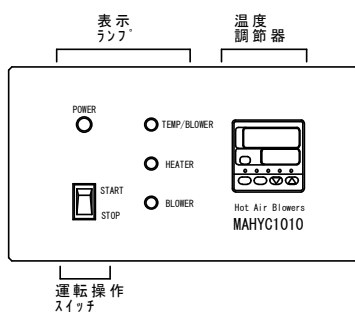
- 各機種別の電源電圧に合った電源を使用してください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 定格電流値が約11Aのため、他の機器と同一コンセントで使用しないでください。
- 他の機器と連動動作(電源の入り切り)は行わないでください。
- アースは必ず接続してください。

各部のなまえ、機能

〔各部のなまえ〕



操作パネル



運転操作スイッチの使いかた

- POWERスイッチ
スイッチを入れますとユニットに電源が供給され、温度調節器の表示部とPOWERランプが点灯し運転準備OKとなります。
- START/STOPスイッチ
下図の運転動作モードとなります。

運転内容		動作モード	ヒーター	ファン
		動作	ヒーター	ファン
START	動作		運転	運転
	表示		点灯	点灯
STOP	動作		停止	運転 → 停止 ※1
	表示		消灯	点灯 → 消灯 ※1

※1 START→STOPに切り換えると、ファンは冷却時間後に停止します。
冷却時間は〔停止手順〕を参照ください。

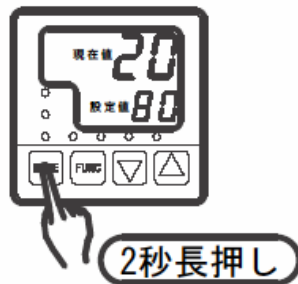
温度調節器の使いかた

- 温度の設定（運転モード画面）
（出荷時 50℃設定）
UP/DOWN キーで温度を設定します。



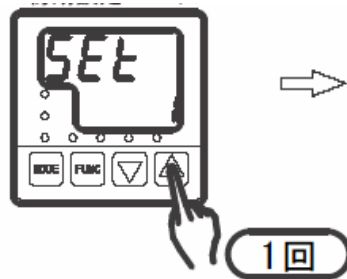
● 制御の設定(オートチューニングの設定)

① 表示の切り換え MODEキーを2秒押し続け、表示を切り換えます。



② 設定モード画面の変更

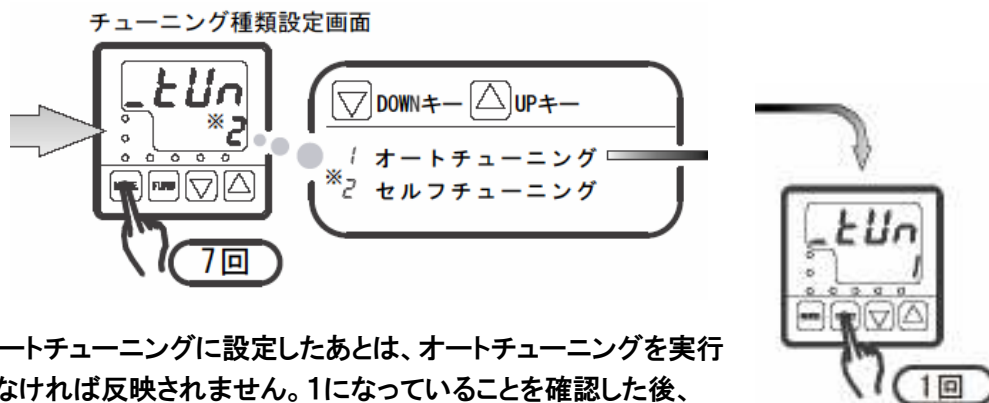
設定画面モードが表示されたら、UPキーを押し
〈セットアップモード〉1から〈制御パラメータモード〉2に切り換えます。



③ オートチューニングの実行

(出荷時 オートチューニング設定)

制御パラメータモードに変更したあと、MODEキーを7回押し、画面をチューニング種類設定に切り換えます。UP/DOWNキーで変更できます。



オートチューニングに設定したあとは、オートチューニングを実行しなければ反映されません。1になっていることを確認した後、FUNCキーを1回押すことで開始します。(セルフチューニングは2にすることで設定されます。)



※ なお、制御パラメータモード内の〈オートチューニングの実行〉以外のパラメータ変更はおこなわないでください。故障の原因になります。

使用方法

運転手順

- ① POWERスイッチを入れてください。
- ② 温度調節器の温度を設定してください。
 - ・ 温度の設定、制御の設定は〔温度調節器の使いかた〕を参照ください。
(温度調節器はPOWERスイッチを入れた後、初期画面から運転モード画面に約4秒かかりますのでご注意ください。)
- ③ START/STOPスイッチをSTARTに入れてください。
 - ・ ヒーター、ファンが運転開始します
(風量と温度の関係)
風量と温度のバランスが悪いと、次のような状況が発生します。
設定した温度まで上がらない。(風量が多い)
設定した温度がばらつく。(風量が少ない)
この場合は吸引口側にダンパー等を設け風量を調整してください。

停止手順

- ① START/STOPスイッチをSTOPに入れてください。
 - ・ ヒーターが停止します。
 - ・ ファンは本体冷却後に停止します。
冷却時間 約6分
 - ② ファンの停止を確認してください。
 - ③ POWERスイッチを切ってください。
 - ④ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
ユニットを収納する際は吐出口等が冷えていることを確認後、収納してください。
- ※ POWERスイッチ/電源プラグを抜く等の直接電源を切ることを行ないでください。

異常時の操作(TEMP/BLOWERランプ)

運転中、次の異常が発生した場合にTEMP/BLOWERランプが点灯し異常を表示します。

- ・ 温度異常
吹出温度が220℃を越えた場合にヒーター回路をOFFにし、送風運転になります。
冷却時間(約6分)以内に異常解除されれば自動復帰します。
- ・ オーバーヒート
吸込温度が160℃を越えた場合にヒーター回路をOFFにし、送風運転になります。
冷却時間(約6分)以内に異常解除されれば自動復帰します。
- ・ 送風機異常
送風機が過負荷時にヒーター回路、送風機をOFFにします。
送風機が焼きついていることが考えられます。すぐに電源を切って点検、修理をご依頼ください。

※ 異常原因の点検は、〔故障診断〕をご確認し点検・処置を行ってください

故障診断

- 次のような病状があれば点検してください。点検・処置しても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合、故障防止のため、すぐに電源を切って点検・修理をご依頼ください。
- ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

病 状	原因・処置	
運転しない	本体に通電されているか (POWERランプが点灯しているか)	供給側のブレーカーの点検 プラグが外れていないか 停電していないか
停止しない	STOP後約6分間は冷却 運転します	故障ではありません
風量が少ない	吸引、吐出口の詰まりは	送風機の吸引側金網のゴミ等の 詰まりはないか。 吐出側配管の抵抗は大きいのか。
熱風が出ない	設定温度が低い 温度異常によりヒーター 電源が切れて冷却している	設定温度を上げてください 冷却後、復帰する場合は故障 ではありません
熱風が設定温度 まで上がらない	風量が多い	吸引口にダンパ等を設けて、 風量を下げてください
熱風温度が急激 に下がる	温度異常によりヒーター 電源が切れている	冷却後、復帰する場合は故障 ではありません 吸引口、吐出口をふさいで ないか確認してください
熱風が途中で 止まる	送風機の異常 送風機に過負荷が掛かり 送風停止	点検、修理をご依頼ください
振動がする	正しく据付られているか パネルの取付ネジが緩んで いないか	正しく据付けてください 確実に締め付けてください

仕様

	MAHYC1010
電源	単相 100V
ヒーター容量 (W)	1.3
温度調節範囲 (°C)	常温~200
吐出口径 (mm)	φ50
吸引口径 (mm)	φ50
最大風量 (m ³ /min)	1.1/1.2 (50HZ/60HZ)
最大静圧 (kPa)	0.2/0.3 (50HZ/60HZ)
吸気温度 (°C)	常温~150
制御機構 : 温度表示	デジタル表示
: 制御駆動	SSR駆動
: 温度センサー	K型熱電対
: 安全回路	過昇/インターロック
重量 (kg)	9

株式会社 ミスミ

〒8456-0016 東京都江東区東陽 2-4-43 (東陽セントラルビル 6F)
TEL : (03) 3647-7173 FAX : (03) 3647-7481

2008.3